

決して諦めなかつたペテロに倣う

「私から離れてください、主よ。私は罪深い男なのです」。[ルカ 5:8](#)

[38 番の歌](#) 神はあなたを強い人にしてくださる

何を学ぶか*自分の弱さと闘っているとしても、それを乗り越えてエホバに仕え続けることができます。

この記事から、その確信を強めましょう。

1. ペテロは、イエスの奇跡によって大量の魚が捕れた時、どんな反応をしましたか。

ペテロは一晩中漁をしましたが、何も捕れずに帰ってきました。そんなペテロにイエスは、「沖に乗り出し、網を下ろして漁をしなさい」と言います。（←[ルカ 5:4](#)）ペテロは、本当に捕れるんだろうかと思いましたが、言われた通りにします。すると、あまりにもたくさんの魚が掛かり、網が裂けそうになります。ペテロと仲間たちは、これはイエスの奇跡だと気付いて「非常に驚き、圧倒されて」しまいます。ペテロは、「私から離れてください、主よ。私は罪深い男なのです」と言います。（[ルカ 5:6-9](#)下ろしてみると、非常に多くの魚が掛かった。網が裂け始めるほどだった。7それで、もう一方の舟にいる仲間たちに合図をし、助けに来てもらった。両方の舟は魚でいっぱいになり、沈みかけた。8シモン・ペテロはこれを見てイエスの前にひれ伏し、「私から離れてください、主よ。私は罪深い男なのです」と言った。9大漁だったので、シモンも一緒にいた人も非常に驚き、圧倒されてしまったのである）自分なんかがイエスと一緒にいるのはふさわしくない、と感じたのでしょうか。

2. ペテロについて学ぶとよいのはどうしてですか。

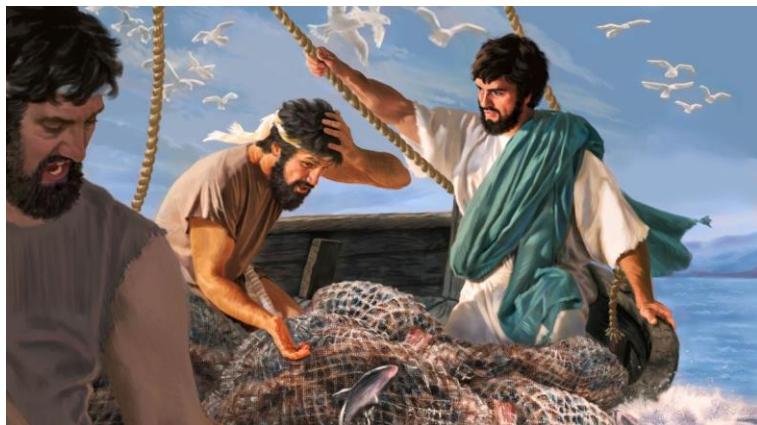
確かに、ペテロは「罪深い」人でした。聖書にある通り、後悔するようなことを言ったりしたりしてしまったことがあります。あなたもペテロのような気持ちになることがありますか。何かの欠点や弱さと闘っているでしょうか。もしそうなら、ペテロについて学ぶと力をもらえます。エホバは、ペテロの欠点や失敗について聖書に含めないでおくこともできました。でも、私たちが大切な点を学べるようにあえて記録させたのです。（[テモニ 3:16, 17](#)聖書全体は神の聖なる力(*)の導きによって書かれたもので、教え、戒め、矯正し、正しいことに基づいて指導するのに役立ちます。17それにより、神に仕える人は十分な能力を持つことができ、あらゆる良い活動を行う用意が完全に整います）ペテロが私たちと同じような弱さや感情を持っていたということを知ると、エホバが私たちに完璧を期待していないということが分かります。エホバは、弱さがあっても諦めずに頑張り続けてほしいと思っています。

3. 諦めないことが大切なのはどうしてですか。

諦めないことが大切なのはどうしてでしょうか。「継続は力なり」ということわざがあります。例えば、楽器を上手に演奏できるようになるには何年もかかるものです。初めのうちは何度も

音を外すかもしれません、練習していくうちに上手になっていきます。上達してからもミスをすることがあるかもしれません。でも、諦めずに練習を続けます。同じように、何かの弱さを乗り越えたと思っても、また失敗してしまうことがあるかもしれません。後悔するようなことを言ったりしたりしてしまうことは、誰にでもあります。でも、諦めずに努力を続けるなら、エホバは私たちが成長できるように助けてくださいます。 (ペテー 5:10 皆さんのが少しの間苦しんだ後、惜しみない親切に満ちる神は、皆さんの訓練を終えます。永遠の栄光を与えるためにキリストを通して招いてくださった神が、皆さんをしっかりした人、強い人、揺らぐことのない人にしてくださるのです) では、①弱さがあつても決して諦めなかつたペテロの手本について考えましょう。②ペテロに対するイエスの思いやりにも注目するなら、エホバに仕え続けたいという気持ちを強められるでしょう。

ペテロは諦めずに闘い続け、素晴らしい経験をした



あなたがペテロと同じような経験をしたら、どんな反応をすると思いますか。 (4節を参照。)

4. ルカ 5 章 5-10 節によると、ペテロは自分のことをどう思っていましたか。イエスはペテロについてどんなことを確信していましたか。

4 ペテロはどうして自分のことを「罪深い男」と言ったのでしょうか。どんな罪のことを言っていたのでしょうか。聖書には特に書かれていません。 (ルカ 5:5-10) しかしシモンは答えた。「先生、一晩中働いて何も捕れませんでした。それでも、おっしゃる通り、網を下ろしてみます」。6 下ろしてみると、非常に多くの魚が掛かった。網が裂け始めるほどだった。7 それで、もう一方の舟にいる仲間たちに合図をし、助けに来てもらった。両方の舟は魚でいっぱいになり、沈みかけた。8 シモン・ペテロはこれを見てイエスの前にひれ伏し、「私から離れてください、主よ。私は罪深い男なのです」と言った。9 大漁だったので、シモンも一緒にいた人も非常に驚き、圧倒されてしまったのである。10 シモンの仲間であるゼベダイの息子たち、ヤコブとヨハネも同様だった。しかしイエスはシモンに言った。「恐れることはありません。今後、あなたは人を生きたまま捕ります」。もしかすると、大きな失敗を何度もしてしまったのかもしれません。イエスは、ペテロが自分の至らなさを痛感して恐れているということに気付きました。それでも、ペテロがイエスに忠実に従い続けられるということを知っていました。それでペテロに優しく、「恐れることはあります」と言いました。イエスに信頼されていることを感じたペテロは、生き方を大きく変えます。兄弟のアンデレと一緒に漁師を辞め、イエスの弟子になったのです。この決定によって、ペテロはたくさんの素晴らしい経験をすることになりました。 (マル 1:16-18 イエスがガリラヤ湖の岸辺を歩

いていると、シモンとその兄弟アンデレが湖に網を投げていた。2人は漁師だった。17イエスは言った。「私に付いてきなさい。魚ではなく人を集め漁師にしてあげましょう」。182人は直ちに網を捨てて後に従った)

5. 恐れを乗り越えてイエスの招待を受け入れたペテロは、どんな素晴らしい経験をしましたか。

5ペテロはキリストの弟子として、素晴らしい経験をたくさんしました。イエスが病人を癒やし、邪悪な天使を追い出し、死んだ人を復活させるのを目の前で見ることができました。*この記事に出てくる多くの聖句は、「マルコによる福音書」から取られています。マルコは、いろいろな出来事を実際に目撃したペテロから話を聞いて、この福音書を書いたようです。(マタ 8:14-17)イエスはペテロの家に入り、ペテロのしゅうとめが熱病にかかって寝ているのを見た。15それで彼女の手に触ると、熱が引き、しゅうとめは起き上がってイエスをもてなし(*に仕え)始めた。16夕方になってから、人々は邪悪な天使に取りつかれた人を大勢連れてきた。イエスは邪悪な天使たちを言葉で追い出し、病気に苦しむ人全てを治した。17預言者イザヤを通して語られた次の言葉が実現するためである。「彼は私たちの病気を取り去り、私たちの病を担った」。マル 5:37イエスは、ペテロ、ヤコブ、ヤコブの兄弟ヨハネ以外は付いてこさせなかった。41, 42そして子供の手を取って、「タリタクミ」と言った。これは訳せば、「少女よ、さあ、起きなさい」という意味である。42すると少女はすぐに起き上がって歩き始めた。(少女は12歳だった。)その時、両親はわれを忘れて大喜びした)また、イエスが将来王国の王として受ける栄光を表す幻も目撃しました。この幻はペテロに強烈な印象を与えた。(マル 9:1-8)イエスはさらに言った。「はっきり言いますが、ここに立っている人の中には、死を迎える前に、神の王国が力を持ってすでに来ているのを見る人たちがいます」。26日後、イエスはペテロとヤコブとヨハネだけを連れて、高い山に登った。そして3人の目の前でイエスの姿が変わった。3外衣はきらきら輝き、地上のどんな洗濯人にもできないほどに白くなった。4また、エリヤがモーセと共に現れ、イエスと語り合っていた。5そこでペテロがイエスに言った。「ラビ、私たちがこの場にいられるのは素晴らしいことです。3つの天幕を立てさせてください。あなたと、モーセと、エリヤのためです」。6ペテロはどう反応したらいいか分からなかったのである。3人ともすっかり恐れていた。7すると、雲ができるで皆を覆い、雲の中から声がした。「これは私の愛する子である。彼の言うことを聞きなさい」。8その瞬間、3人は辺りを見回したが、イエス以外にはもう誰も見えなかった。ペテ二 1:16-18私たちは、主イエス・キリストの力と臨在(*)について、巧みな作り話によって皆さんに知らせたのではありません。私たちはキリストの莊厳さを実際に見たのです。17「これは私の愛する子、私はこの子のことを喜んでいる(*を是認した)」という言葉が莊厳な栄光によって伝えられた時、キリストは、父である神から栄誉と栄光を受けました。18私たちがキリストと共に聖なる山にいた時、その言葉が天から聞こえたのですイエスの弟子になっていなければ、こうした経験はできなかっただしよう。ペテロは、自分に対する消極的な感情に負けずに頑張り続けてよかったです。

6. ペテロはすぐに自分の弱さを克服することができましたか。

6ペテロは素晴らしい経験をたくさんしましたが、それでも自分の弱さと闘い続ける必要がありました。イエスが、聖書の預言通り自分が苦しみ、殺されると言った時、ペテロはイエスを叱ってしまいました。(マル 8:31-33)また、人の子が必ず多くの苦しみに遭い、長老と祭司長と律法学者たちに避けられて殺され、3日後に生き返る、ということを教え始めた。32しかも、そのことをはっきりと語っていた。ところが、ペテロはイエスを脇に連れていて叱り始めた。33イエスは向きを変え、弟子たちを見ながらペテロを叱り、「私の後ろに下がれ、サタン！あなたは、神の考えではなく、人間の考えを抱いています」と言った)誰が一

一番偉いのかについて、ほかの使徒たちと言い争ったことが何度もあります。（マル9:33, 34 一行はカペルナウムに入った。家の中にいた時、イエスは弟子たちに、「途中で何を言い合っていたのですか」と質問した。34弟子たちは黙っていた。途中で、誰が一番偉いかと言い合っていたからである）イエスが亡くなる前の晩には、ある人に襲い掛かり、耳を切り落としてしまいました。（ヨハ18:10 その時、シモン・ペテロが、持っていた剣を抜き、大祭司の奴隸に襲い掛かって右耳を切り落とした。奴隸の名前はマルコスといった）さらに、人への恐れに負けて、イエスを知っていることを3回も否定しました。（マル14:66-72 さて、ペテロが下の中庭にいると、大祭司に仕える女性の1人がやって來た。67ペテロが体を温めているのを目にして、ペテロを真っすぐに見て、言った。「あなたも、あのナザレ人イエスと一緒にいました」。68しかしひペテロはそれを否定し、「その人を知らないし、あなたが何を話しているのかも理解できない（あなたが何を話しているのか分からないし、理解もできない）」と言って、入り口の方に出ていった。69そこでも女性はペテロを目にし、そばに立っている人たちに、「この人は彼らの仲間です」と、また言い始めた。70ペテロは再びそれを否定した。しばらくして、そばに立っていた人たちがまたもやペテロに言いだした。「確かにあなたは彼らの仲間だ。実際、ガリラヤ人ではないか」。71しかしひペテロは、「あなたたちが言っている人など知らない」と言い、うそなら神罰を受けてもいいと誓い始めた。72すぐに、おんどりが2度目に鳴いた。ペテロは、「おんどりが2度鳴く前に、あなたは3度、私を知らないと言います」とイエスから言われたことを思い出し、泣き崩れた）ペテロはこのことをとても後悔し、激しく泣きました。（マタ26:75ペテロは、「おんどりが鳴く前に、あなたは3度、私を知らないと言います」とイエスから言われたことを思い出した。そして、外に出て激しく泣いた）

7. イエスが復活した後、ペテロはどんな経験をしましたか。

7ペテロは自分にがっかりしていたことでしょう。でもイエスは諦めていませんでした。復活した後、ペテロにイエスへの愛を言い表す機会を与えます。そして、イエスの羊を世話するという大切な仕事を委ねます。（ヨハ21:15-17弟子たちが朝食を終えると、イエスはシモン・ペテロに言った。「ヨハネの子シモン、これら以上に私を愛していますか」。ペテロは答えた。「はい、主よ、私があなたに愛情を抱いていることをあなたは知っています」。イエスは言った。「私の子羊を養いなさい」。16また2度目に、「ヨハネの子シモン、私を愛していますか」と言った。ペテロは答えた。「はい、主よ、私があなたに愛情を抱いていることをあなたは知っています」。イエスは言った。「私の小さな羊を世話しなさい」。17そして3度目に、「ヨハネの子シモン、私に愛情を抱いていますか」と言った。3度目に、「私に愛情を抱いていますか」と言われ、ペテロは悲しくなって、こう言った。「主よ、あなたは全て分かっています。私があなたに愛情を抱いていることを知っています」。イエスは言った。「私の小さな羊を養いなさい）ペテロは喜んでイエスから言われた通りにしました。そして、ペンテコステの日にエルサレムで天に行く人たちが初めて選ばれた時、ペテロもそのうちの1人になりました。

8. アンティオキアでペテロはどんな失敗をしてしまいましたか。

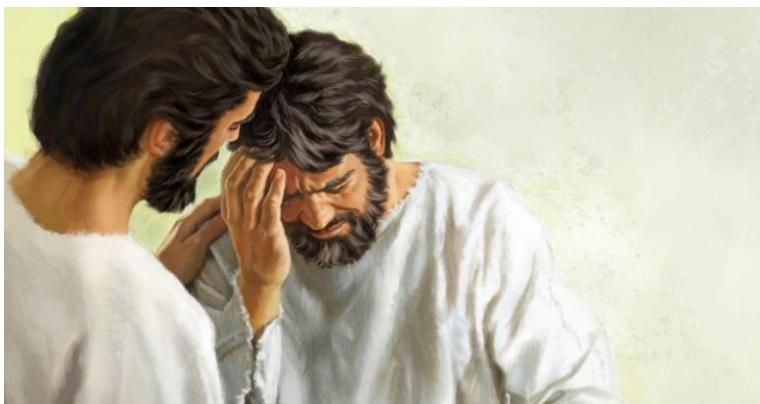
8ペテロは天に行くよう選ばれた後も、自分の弱さと闘い続ける必要がありました。西暦36年、ペテロはコルネリオが聖なる力によって天に行くよう選ばれるのを目撃します。コルネリオは無割礼の異国人でした。これによって、「神が不公平ではな[く]」、異国の人たちもクリスチヤン会衆に加わるということがはつきりしました。（使徒10:34そこでペテロは話し始めた。「神が不公平ではないことがよく分かりました、44, 45これらのことについてペテロが話しているうちに、神の言葉を聞く全て

の人が聖なる力を受けた。45 ペテロと一緒に来ていた割礼を受けた信者たちはとても驚いた。無償の贈り物である聖なる力が異国の人々にも注がれていたからである) ペテロは異国の人々と一緒に食事をするようになります。以前では考えられなかったことです。 (ガラ 2:12 ケファ(c*ペテロとも呼ばれる)は、ヤコブの所からある人たちが来るまでは異国の人々と一緒に食事をしていたのに、彼らが来ると、そうするのをやめて離れてきました。割礼を受けた人たちを恐れたからです) でも、ユダヤ人のクリスチャンの中には、ユダヤ人と異国人が一緒に食事をすべきではないと考えていた人たちもいました。そうした人たちがアンティオキアに来た時、ペテロは異国の人々と一緒に食事をするのをやめてしまいます。おそらく、ユダヤ人のクリスチャンの目を気にしてしまったのでしょうか。パウロはこの偽善的な行動を見て、ペテロをみんなの前で正します。 (ガラ 2:13, 14 残りのユダヤ人たちもケファ(c*ペテロとも呼ばれる)と一緒にこの偽善的な行動を取り、バルナバさえも影響されてそうしました。 14 私は、彼らが良い知らせの真理に沿って歩んでいないのを見て、皆の前でケファ(*)にこう言いました。「ユダヤ人であるあなたが、異国の人のように生活し、ユダヤ人のように生活していないのに、どうして異国の人々にユダヤ人の習慣に従って生活させようとするのですか」) このように失敗したこともありましたが、ペテロは諦めませんでした。どんなことが助けになったのか、考えてみましょう。

何が頑張り続ける力になったか

9. ペテロが揺るぎない愛を持っていたことは、ヨハネ 6 章 68, 69 節からどのように分かりますか。

9 ペテロは揺るぎない愛を持っていました。だからこそ、どんなことがあってもイエスに従い続けることができました。ある時、弟子たちはイエスの話を理解できないことがありました。 (ヨハネ 6:68, 69 シモン・ペテロが答えた。「主よ、私たちは誰の所に行けばよいのでしょうか。あなたは永遠の命の言葉を持っています。 69 私たちは、あなたが神の聖なる方であることを信じ、知るようになりました」を読む。) 多くの人は質問したり説明を待ったりするのではなく、イエスに従うのをやめてしまいました。でも、ペテロはそうはしませんでした。イエスだけが「永遠の命の言葉」を持っている、と信じていたからです。



イエスがペテロに示した信頼について考えることは、どうして力になりますか。 (10 節を参照。)

10. イエスがペテロを信頼していたことは、どんな点から分かりますか。 (挿絵も参照。)

10 イエスも揺るぎない愛を示し、ペテロのことを見放しませんでした。イエスが亡くなる前の晩のことです。イエスはペテロや使徒たちが自分を見捨てるということを知っていました。それで

も、ペテロが立ち直り、また忠実に奉仕すると信じていることを伝えました。 (ルカ 22:31, 32 シモン、シモン！ サタンはあなたたちを渡すよう要求しました。小麦をふるいにかけるように試すためです。 32 しかし私は、あなたの信仰が尽きないように祈願しました。立ち直った後は、兄弟たちを力づけなさい) イエスは、「心は強く願っていても、肉体は弱い」ということをよく理解していました。 (マル 14:38) ずっと見張っていて絶えず祈り、誘惑に負けないようにしていなさい。もっとも、心は強く願っていても(*やる気はあっても)、肉体は弱いのです) それで、イエスのことを知らないと言ったペテロのことを見限ることはしませんでした。復活した後、イエスは1人でいたと思われるペテロの前に現れます。 (マル 16:7 さあ、行って、弟子たちとペテロに言いなさい。『イエスは先にガリラヤに行っています。彼が言った通り、そこで会えます』。ルカ 24:34 「主は本当に生き返って、シモンの前に現れたのだ！」と言っていた。コリー 15:5 ケファ(*の前に現れ、それから12人の前に現れたことです) 気落ちしていたペテロはとても力づけられたに違いありません。

11. ペテロがエホバの支えを確信できるように、イエスはどんなことをしましたか。

11 イエスは、ペテロがエホバからの支えを確信できるように助けました。復活した後に奇跡を行い、ペテロとほかの使徒たちがまた大量の魚を捕れるようにしました。 (ヨハ 21:4-6 ちょうど夜が明ける頃、イエスが浜辺に立ったが、弟子たちはそれがイエスだと気付かなかつた。5 イエスは言った。「友よ、食べる物がないのですね」。弟子たちは、「ありません」と答えた。6 イエスは言った。「舟の右側に網を投げなさい。そうすれば捕れます」。そこで弟子たちは網を投げたが、魚があまりに多くて網を引き寄せられなかつた) この奇跡を見たペテロは、**生きていくのに必要な物をエホバが必ず与えてくれる**ということを確信したはずです。使徒たちは、「**王国……をいつも第一に**」するなら**エホバがほかのものを与えてくれる**、というイエスの言葉を思い出したことでしょう。 (マタ 6:33 ですから、王国と神から見て正しいことをいつも第一にしなさい。そうすれば、こうしたほかのもの全ても、あなたたちに与えられます) ペテロはその言葉に従って、漁業ではなく宣教を生活の中で一番大切にしました。西暦33年のペンテコステの時には、**何千人の人が良い知らせを聞いて受け入れるように助けました**。 (使徒 2:14 しかしひペテロが**11人と一緒に立ち上がり**、大声でこう話した。「ユダヤの人たち、そしてエルサレムの住民の皆さん、知っていただきたいことがあります。私が言うことをよく聞いてください、37-41人々はこれを聞くと、心を刺され、ペテロやほかの使徒たちに言った。「皆さん、兄弟たち、私たちはどうしたらよいのですか」。38 ペテロは言った。「悔い改めなさい。そして一人一人、罪の許しのためにイエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、無償の贈り物である聖なる力を受けます。39 この約束はあなた方とあなた方の子供たち、また遠くにいる全ての人、エホバ神が招く全ての人に対するものです」。40 ペテロはさらに多くを語って徹底的に教え、「この曲がった世代から救われなさい」と勧め続けた。41 それで、ペテロの言葉を喜んで受け入れた人はバプテスマを受け、その日に**約3000人が加わった**) その後、**サマリア人や異国の人々がイエスに信仰を持つように助けました**。 (使徒 8:14-17 エルサレムにいる使徒たちは、サマリアの人々が神の言葉を受け入れたことを聞くと、ペテロとヨハネを遣わした。15 2人はサマリアに下り、人々が聖なる力を受けるようにと祈った。16 その人々のうちの誰もまだ聖なる力を受けておらず、主イエスの名によってバプテスマを受けていただけだった。17 それで2人が人々に手を置いていくと、聖なる力を受けるようになった; 10:44-48 これらのことについてペテロが話しているうちに、神の言葉を聞く全ての人が聖なる力を受けた。45 ペテロと一緒に来ていた割礼を受けた信者たちはとても驚いた。無償の贈り物である聖なる力が異国の人々にも注がれていたからである。46 信者たちは、その人々が外国語で話して神をあがめるのを聞いた。それでペテロは言った。47 「この人たちは私たちと同じように聖なる

力を受けました。水でバプテスマを受けることを誰が禁じられるでしょうか」。48 そして、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けるようにと命じた。その人々はペテロに、何日かとどまるよう頼んだ) このようにして、エホバはペテロを用いてあらゆる人をご自分の元に引き寄せたのです。

どんなことを学べるか

12. ペテロの手本は自分の弱さと闘い続ける上で、どのように助けになりますか。

12 エホバは私たちが頑張り続けられるよう助けてくれます。なかなか克服できない弱さと闘い続けるのは、簡単なことではないでしょう。自分がの方がペテロよりも大変だと感じることもあるかもしれません。でも、エホバが力を与え、支えてくださいます。 (詩 94:17-19 もしエホバが助けてくださらなかつたなら、私はとっくに消えうせつていただろう。 18 「足を滑らせてしまう」と私が言った時、エホバ、あなたは揺るぎない愛を示し、私を支えてくださった。 19 心配事で圧倒されそうな(*不安な気持ちでいっぱいになつた)時、あなたは私を安心させ(*慰め)、落ち着かせてくださった) 例えば、ある兄弟は真理を学ぶ前、同性愛者で、その生き方を何年も続けていました。その後、不道徳な行いを一切やめ、聖書の基準に合わせた生き方をするようになりました。それでも、間違った欲望と闘わなければいけないことがありました。兄弟が諦めずに頑張り続けられたのはどうしてでしょうか。こう言っています。「エホバが力を与えてくださいます。……エホバの聖なる力の助けがあれば、エホバに喜ばれる生き方を続けることができるということが分かりました。……エホバはいろいろな弱さがある私に力を与え、用いてくださっています」。



ホルスト・ヘンシェル兄弟は1950年1月1日に全時間奉仕を始めた。エホバに捧げた人生を兄弟は後悔しているだろうか。

(13, 15節を参照。)

*写真や挿絵: 再現。ホルスト・ヘンシェル兄弟の両親が兄弟と一緒に祈り、しっかり立つことができるよう助けている。

13. ペテロの手本にどのように倣えますか。 (使徒 4:13, 29, 31) (写真も参照。)

13 ペテロは人への恐れに負けてしまったことが何度もありました。でも、大胆さを求めてエホバに祈ることによって、勇気を持って行動できました。 (使徒 4:13 支配者と長老たちは、ペテロとヨハネの大胆な話し方を見た時、2人が教育のない普通の人であることを知って、非常に驚いた。そして、2人がイエスと一緒にいたことに気付くようになった。 29 それで今、エホバよ、彼らの脅しに注意を向け、あなたの奴隸たちができる限り大胆にあなたの言葉を語り続けられるようにしてください、 31 弟子たちが祈願を終えると、集まっていた場所は揺れ動いた。そして一人残らず聖なる力に満たされて、神の言葉を大胆に語るのだったを読む。) 私たち

も、恐れを克服することができます。ホルスト兄弟が若い頃に経験したことについて考えてみましょう。兄弟は、ナチ政権下にあったドイツで暮らしていました。当時学校では、「ヒトラー万歳！」というあいさつをすることが求められていました。兄弟は、先生やクラスメートへの恐れの気持ちに何度も負けてしまったことがあります。そんな兄弟のことを両親は叱るのではなく、勇気を求めて一緒に祈ってくれました。このように、親に助けてもらい、エホバに頼ることによって、兄弟はしっかり立つための力を得ることができました。兄弟は後にこう言っています。「エホバは決して私を見捨てられませんでした」。*「家族が示した神への忠節に動かされて」という題のホルスト・ヘンシェル兄弟のライフ・ストーリーは、「目ざめよ！」1998年2月22日号に載せられています。

14. 愛情深い牧者は、落ち込んでいる人をどのように安心させることができますか。

14 エホバとイエスは私たちのことを見放しません。ペテロは、キリストを知らないと言った後、人生の分かれ道に立たされました。一つはキリストの弟子をやめるという道、もう一つは頑張り続けるという道です。イエスは、ペテロの信仰が尽きないように祈願したこと、そして仲間の兄弟たちを力づける人になると確信していることをペテロに伝えていました。（ルカ 22:31, 32 シモン、シモン！サタンはあなたたちを渡すよう要求しました。小麦をふるいにかけるように試すためです。32 しかし私は、あなたの信仰が尽きないように祈願しました。立ち直った後は、兄弟たちを力づけなさい）ペテロは、イエスのこの言葉を思い出すたびに安心したことでしょう。私たちも、道に迷う時があるかもしれません。そんな時エホバは、愛情深い牧者によって私たちを安心させ、強い信仰を保てるように助けてくれるでしょう。（エフェ 4:8）こう述べられています。「その方は高い所に昇った時、捕虜を連れ去り、人々という贈り物を与えました」、11 そしてその方は、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を福音伝道者（*良い知らせを伝える人）、ある人を牧者また教える人として与えました）長年長老として奉仕しているポール兄弟は、落ち込んでいる兄弟姉妹をいつも元気づけています。兄弟はそうした人にまず、エホバがどのように引き寄せてくださったかを思い返すように勧めます。そして、搖るぎない愛を持つエホバが見捨てるはずないと確信できるように助けます。兄弟はこう言っています。「落ち込んでいたもののエホバに助けられて頑張り続けている兄弟姉妹の様子をたくさん見てきました」。

15. マタイ 6章 33節がその通りであることは、ペテロやホルスト兄弟の例からどのように分かりますか。

15 エホバは、ペテロや使徒たちに必要な物を与えました。私たちが生活の中で宣教を第一にするとき、エホバは同じように支えてくださいます。（マタ 6:33 ですから、王国と神から見て正しいことをいつも第一にしなさい。そうすれば、こうしたほかのもの全ても、あなたたちに与えられます）先ほど出てきたホルスト兄弟は、第2次世界大戦後に開拓奉仕をしようと思いました。でも、とても貧しかったので、ちゃんと自活しながら全時間奉仕を続けられるんだろうか、と不安になりました。兄弟はどうしましたか。巡回訪問中、毎日奉仕に出て、エホバが必要な物を本当に与えてくださるかを試してみることにしました。週の終わりに、兄弟は巡回監督から匿名の封筒を渡され、びっくりしました。中には数ヶ月開拓奉仕をやっていくのに十分なお金が入っていたのです。兄弟は、エホバが「必ず支えるよ」と言ってくれているように感じました。その後も兄弟は王国を第一にし続けました。（マラ 3:10 10分の1全部を倉庫に持ってきて、私の家に食物があるようにしなさい。私があな

たたちのために天の水門を開いて、あふれるほどに祝福を注ぐかどうか、私を試してほしい」と、大軍を率いるエホバは言う)

16. ペテロやペテロの手紙について調べるとよいのはどうしてですか。

16 ペテロはイエスに、「私から離れてください」と言いましたが、イエスはそうはしませんでした。ペテロは、イエスが諦めずに教えてくれて本当に良かったと思ったに違いありません。おかげで、強い信仰を持つ使徒になり、クリスチャンの立派な手本になることができました。その記録について読むと、私たちも大切なことをたくさん学べます。ペテロは自分が学んだことを手紙にして、1世紀のクリスチャンに送りました。次の記事では、その手紙の中から幾つかの点を取り上げ、私たちがどのように当てはめられるかを考えます。

どのように答えますか

1. ペテロはどんな弱さと闘う必要がありましたか。

・S03 もしかすると、大きな失敗を何度もかしていたのかもしれない。ペテロは、自分の至らなさを痛感して恐れるという消極的な感情を持っていました。

・S06 イエスが、聖書の預言通り自分が苦しみ、殺されると言った時、ペテロはイエスを叱ってしまった。誰が一番偉いのかについて、ほかの使徒たちと言い争ったことが何度もあった。イエスが亡くなる前の晩には、大祭司の奴隸に襲い掛かって右耳を切り落としてしまった。人への恐れに負けて、イエスを知っていることを3回も否定してしまった。

・S08 コルネリオを初め異国の人たちもクリスチャン会衆に加わるということがはっきりした後に、異国の兄弟たちと一緒に食事をするようになったのに、ユダヤ人のクリスチャンがアンティオキアに来た時、おそらくユダヤ人のクリスチャンの目を気にして異国人の兄弟たちと食事をするのをやめてしまった。パウロはこの偽善的な行動を見て、ペテロをみんなの前で正した。

2. ペテロにとって何が頑張り続ける力になりましたか。

・S09 ペテロは搖るぎない愛を持っていたので、どんなことがあってもイエスに従い続けることができた。ある時、弟子たちはイエスの話を理解できず、多くの人はイエスに従うのをやめてしまったが、ペテロはイエスだけが「永遠の命の言葉」を持っていると信じていて、そうはしなかった。

・S10 イエスはペテロや使徒たちが自分を見捨てるということを知っていることと、それでもペテロが立ち直り、また忠実に奉仕すると信じていることを伝えた。復活した後も、イエスは1人でいたと思われるペテロの前に現れ、搖るぎない愛や信頼を示し、気落ちしていたペテロを力づけた。

・S11 イエスは、復活した後にも奇跡によりペテロとほかの使徒たちがまた大量の魚を捕れるようにし、生きていくのに必要な物をエホバが必ず与えてくれるというエホバの支えを確信できるように助けた。

3. ペテロからどんなことを学べましたか。

・S12 なかなか克服できない弱さと闘い続けるのは簡単ではないが、エホバは私たちが頑張り続けられるよう、力を与え、支え、助けてくださる。

・S14 ペテロがキリストを知らないと言った後も、イエスが、ペテロの信仰が尽きないように祈願したこと、そして仲間の兄弟たちを力づける人になると確信していることをペテロに伝えていたことをペテロは思い出して安心したはず。エホバとイエスは私たちのことをも見放なさず、愛情深い牧者によって私たちを安心させ、強い信仰を保てるように助けてくださる。

・S15 エホバはペテロや使徒たちに必要な物を与えた。私たちが生活の中で宣教を第一にすること、エホバは同じように支えてくださる。

126番の歌 目を覚ましていて、しっかり立ち、強い人になる